日野原重明記念
いきいきライフ千葉
会報　2019年9月　第6号

発行　日野原重明記念
「いきいきライフ千葉」
会長　植村　研一
事務局　〒266－0032
千葉市緑区おゆみ野中央5-12-2
Tel&Fax　043-292-5209
事務局長　熊谷　勝弘

ピースフェア2019オープニングコンサート「手のひらを太陽に」

千葉市平和のための戦争展

ピースフェア　２０１９ｉｎ千葉　に参加　!!

平和はともに創るもの

２０１９．６．１２（水）　千葉市Ｑｉｂａｌｌ（きぼーる）

ピースフェアは千葉市を拠点にして、こどもや若者たちに戦争体験を伝えていく活動をしている「ちば・戦争体験を伝える会」「千葉市空襲と戦争を語る会」によって６月１２日～１６日の５日間にわたり開催。

千葉市、千葉市教育委員会、朝日新聞、千葉日報、東京新聞、毎日新聞、読売新聞の後援、及び、「ぴーすさーくる」、千葉市民活動支援センターの協賛も受けています。

ステージでは歌・演奏・ダンス・紙芝居・詩の朗読・手品や千葉空襲などの戦争体験談、その他、さまざまな市民団体の活動を紹介したパネル展示と盛りだくさんの内容です

日野原重明記念いきいきライフ千葉「楽しい歌声」は、２０１５年からオープニングコンサートに参加しています。

ピースフェア２０１９in 千葉に参加

日野原重明記念いきいきライフ千葉　サークル「楽しい歌声」

♪　観客のなかで、ほとんど全部一緒に歌っている方がおられました。ピースフェアにふさわしい選曲でした。

♪　ウクレレの皆様の応援でとても盛り上がり嬉しかったです。

♪　ウクレレ演奏の方たちの声が素晴らしく、また、阿部克行さんのソロの声が心地良く素晴らしかったです。

（参加者アンケートより感想）

前列女性５名のウクレレ演奏の応援を得て熱唱

平和への祈りと感謝をこめて

発表曲

オープニング	切手のないおくりもの（手話入り）
1	手のひらを太陽に　（手話入り）
2	たんぽぽ
3	折り鶴
4	長崎の鐘
5	あの山を思い出そう
6	あすという日が
7	線路は続くよどこまでも

♪　ピースフェア２０１９in 千葉に参加、益々平和の大切さを実感いたしております。今年もウクレレ合奏団の方々の力強い応援をいただき、有り難く、来年もご参加いただける事を願っております。

♪　今年はすごく皆様の声が出ていてとても良くて感動した。

♪　どれも歌の中身が素晴らしく、特に「あの山を思い出そう」の歌詞や歌い方など自分なりに気に入りました。

♪　来年も参加しましょう。

（参加者アンケートより感想）

ピースフェア会場　きぼーる１階アトリウムにて

第1回　歴史探訪バスの旅

令和元年6月21日(金)　アクアライン経由三浦半島

アクアライン海ほたるにて

歴史探訪バスの旅を終えて

令和元年６月21日（金）、梅雨に入っていますが青空が覗いています。昼頃からは太陽が燦々と照りつける中、城ケ島のハイキングをしてきました。この日は風も少しあり、日陰はとても爽やかな一日でした。

今年初めてのバスの旅は、千葉ＮＴＴ前を８時15分集合、26名の参加で実施。今回、キャンセル待ちをし、それでも参加できなかった方々にはお詫び申し上げます。

コースは、アクアラインを利用し三浦半島に向かいました。千葉の人にとってこのアクアラインは東京を通らず他県に行けるという意味で、非常にありがたい存在だと思います。

走水神社ではバスの駐車場がない関係で路上駐車となり、極力早めの参拝となりましたが、それでも充分お参りできたようです。観音埼灯台を車窓から見ながら、三崎さかなセンターに向かい、ここで自由昼食となりました。三崎といえばまぐろ丼、お寿司等々、ご満足いったかな?お魚屋さんのお土産を値切っていましたよ。

最後は城ケ島のハイキング。潮風にあたり、浜のにおいを嗅ぎながら２時間弱のハイキングを楽しみました。

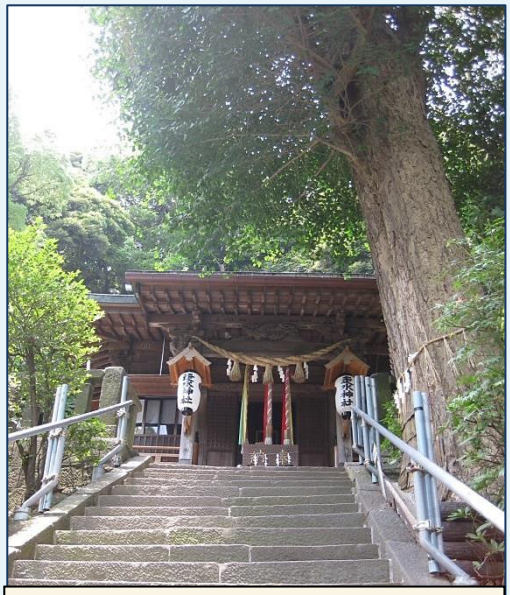
予定通り無事終了し、千葉にも少し早く到着しました。

皆さんのご協力有り難うございました。　担当世話人　上田彦一

ウミウ展望台よりウミウの生息地である赤羽根海岸東側の崖を望む。ウミウは冬に飛来し翌年春までこの崖で過ごす。

バイクでツーリング中の親子が乗せていたワンコ
（城ケ島にて）

安房埼灯台
城ケ島東端の岩場に建ち、房総半島が一望できる。高さ 11m。波しぶきを浴びながら海の道標として立つ。



走水神社
景行天皇の御代、東征中の日本武尊は、古代東海道をたどって来り走水から船で上総へ渡ろうとしたが、暴風雨に阻まれ立ち往生してしまった。このとき同行していた妃の弟橘媛が自ら入水し海神の怒りを鎮め、航海の安全を図ったという、伝説にちなみ創建された古社。日本武尊は、我が身を犠牲にして海を鎮めてくれた弟橘媛を偲び、御所ヶ崎に祭る一方、村人の敬慕に謝し冠を下賜され、村人はこの冠を石棺に納め、その上に社殿を建立し尊を祭ったのがはじまりと伝わる。明治43年御所ヶ崎に祭られていた弟橘媛は走水神社に合祀された。

養老渓谷ハイキング＆里山トロッコ乗車体験

２０１９年7月１３日（土）　８名参加

小湊鐵道五井⇔養老渓谷

小湊鐵道は内房線五井駅と房総半島真ん中の上総中野駅間約 39 ㎞で結ばれ、気動車はディーゼル方式の為、独特の振動と音で旅行気分を一層高める事ができます。

今回は養老渓谷ハイキングと養老渓谷駅から上総牛久駅間のトロッコ列車乗車体験。車窓からの景観を楽しみに五井駅を定刻に出発！

養老渓谷駅では乗車券があると無料の「足湯」につかり昼食を済ませ約 6.4 ㎞のハイキングに備えました。

養老渓谷のシンボル観音橋から向山トンネルを通って共栄橋を渡り、養老川沿いの中瀬遊歩道に入りました。遊歩道の目玉ポイント弘文洞跡を見ながら歩くと、対岸に砂泥互層の縞模様の地層を見る事ができます。(右中央の写真) 後で知ったのですが「チバニアン」より古い地層で歴史が感じられました。養老川には３箇所、川中の飛び石を渡ります。川魚を見つつ多少の緊張感を味わいました。途中、東屋で休息をとり観音橋、養老渓谷駅に戻りました。

いよいよトロッコ列車に。展望車両指定席での旅の始まりです。汽笛と、走行速度 25 キロで気分は最高潮、車窓からの里山の景色を楽しみながら上総牛久駅で一般車両に乗り換え、五井駅に到着。解散となりました。

担当世話人　渡邊好之

養老渓谷駅にて足湯 湯質は鉱泉、適温で癒される

観音橋。朱色の二連太鼓橋。ここを渡って出世観音立國寺に行く事ができる。

観音橋の上で

向山トンネル(話題の２階建てトンネル)
２階は素掘りのトンネルで、1970 年３月、接続する道路の利便性から下部に新たにトンネルを造り古いほうも残した為、一部２段になっている。

弘文洞跡。140 年前、耕地開拓の為養老川支流蕪来川の川廻しの際に造られた隧道。以前は上部がつながっていたが 1979 年 5 月突然崩落し現在の姿になる

上総層群梅ヶ瀬層。100 万年前から 80 万年前にかけて砂、泥が堆積してできた地層

里山トロッコ列車。機関車はかつて活躍した DB4 形を復元（五井駅）

養老川には３箇所の飛び石がありちょっとしたスリルを味わえる。奥に見える地層が梅ヶ瀬層。

いよいよトロッコ列車に乗車（養老渓谷駅）

第1回歩こう会 から　２０１９(令和元)年５月２３日(木)

浦安市旧市街(元町)巡り　参加者１３名

第1回「歩こう会」は再び千葉市を離れて浦安市を歩きました。

「ぶらり浦安ガイド」の細谷さんのガイドでまず旧江戸川べりへ。対岸東京との「**渡し**」場と「**蒸気河岸**」の跡に出ます。昔は浦安では魚介類が豊漁で、大部分は船で江戸・東京の**日本橋・築地**等へ運んで販売され、帰りの船で生活必需品を運んできたそうだ。明治10年には運搬船は木造船から人も乗せる大型の**蒸気船(外輪船)**になり、その発着場が「**蒸気河岸**」の名の由来とのこと。

次に、海の神様「**清瀧神社**」へ出ます。創建は1196年(鎌倉時代開始後すぐ)。現在の本殿は幕末の頃、上総国から1本のケヤキの大木を購入し、それから材を取り建てたと。見事な彫刻が施されている。 近代美術の父と言われた**岡倉天心**から大事にするようにとお墨付きをもらったとの由。

清瀧神社拝殿前で。　**本殿**は裏に屋根囲いされ保存してある。

この後、**市内では最古の家屋**、「**旧宇田川家**(明治2年築)」「**旧大塚家**(江戸時代末期築推定)」を訪れる。

次いでかっての娯楽の中心であった「**フラワー通り**」に出る。旧魚市場や演芸場などがあって、浦安一番の賑やかな通りだったそうだが、今はその面影はなく静かだった。

市内を流れる境川には珍しい和船が係留

豊作の神様「**豊受神社**」は浦安で一番古い神社。創建1158年(平安時代末)で 鳥居の右手に大銀杏がある。気根を乳房に見たてて安産のシンボルとして崇められている。

最後に「**郷土博物館**」に寄り、全員そろって全行程を終了した。

「郷土博物館」のレストランにて時間の都合のつく有志9名で「あさりご飯」を食べ散会した。

担当世話人　有村　長

会席料理で懇親お食事会

楽しい歌声サークル

10年目の節目

7月23日(火)正午から千葉市中央区の三井ガーデンホテル内の「日本料理 汐菜」(写真)で楽しい歌声サークルの懇親お食事会が開催されました。

熊谷美重子先生はじめ、23名の出席がありました。丁度10年の節目。日頃は歌うことが中心で、会員同志の話し合う時間もとれないこともあり、懇親のよい機会となりました。

貸し切りのお部屋でおいしい会席料理をいただきながら、和気あいあいおしゃべりし、最後は楽しい愛唱歌を4曲も歌ってお開きとなりましたが、皆さんから好評をいただきました。

世話人　福澤典子 ・ 阿部克行

本の紹介

熊谷勝弘

この本は、物の**整理**について「単純に量を減らすことだけが目的ではない。元気なうちに、少ない『物』(自分自身で管理できる量・質の「物」)で暮らす生活習慣を身につけておくことを目的とした整理」と定義している。

その結果、自分自身が主人公として自立した生活を維持でき、健康寿命の維持、認知症予防のセルフケアにつながるのだという。

どこの家も贈答文化や経済成長を経て家に「物」が大量にたまっている･･･「物屋敷」「倉庫屋敷」化。

高齢になるほどその整理がどれだけ大変な事になっていくのかが、豊富な図や写真を使って示され、またそのための整理のアドバイスがとても具体的に示されている。

ＮＨＫプロフェッショナル 仕事の流儀「遺品と心を整理する」の出演者の現場レポートも掲載され、参考になる。

写真も多く読みやすく、**はじめたくなる**「整理本」である。

特定非営利活動法人コンシューマーズ京都 監修
西山尚幸・川口啓子・奥谷和隆・横尾将臣　編・著
発行 クリエイツかもがわ　1,500 円 ＋ 税

日野原重明氏が日本に紹介した英国医療とその教育（1）

植村研一会長

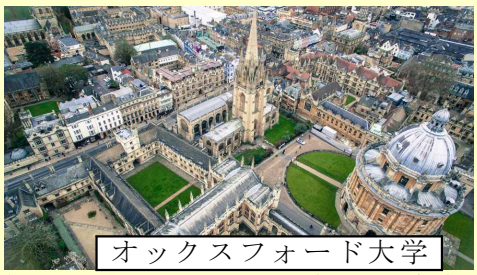
日野原重明記念
「いきいきライフ千葉」会長　植村 研一　浜松医科大学名誉教授
脳神経外科・脳卒中専門医

1980年前後の数年間、日野原重明氏は英国の医学者・看護学者を招いてライフ・プランニング・センター（LPC）で「医療と看護とその教育に関する国際セミナー」を毎年開催され、私はｸﾞﾙｰﾌﾟ討論の同時通訳を勤めた。

今回はGP（general practitioner総合診療医、かかりつけ医）について英国と日本のちがいについて解説します。

日本では国民はGPを持ち、病気になったらGPを受診し、専門的医療を要する場合にはGPの紹介状をもって病院を受診することが望ましいとされている。

英国では国民のみならず30日以上滞英している外国人もGPを持たねばならず、GPの紹介状なしには病院は受診できず、病院は救急車で搬送される患者を除き、GPの紹介状のない患者を診療してはならない。
私は1967年7-12月に英国に留学したが、子供が発熱したので、勤務する大学病院に連れていったら、受付を拒否され、GPを探して診療してもらった。


オックスフォード大学

日本の大学病院には紹介状を持たない患者が殺到していたが、オックスフォード大学では脳神経外科外来の患者は1日数人のみであった。日本の大学病院の医師達は2,000人を超す外来患者の診療に忙殺されているが、英国の大学病院の医師は入院患者の専門的診療に専念している。

日本のGPの多くは個人開業であり中には病院を経営するGPもいるのに対して、英国のGPは5人でひと組となってｸﾞﾙｰﾌﾟ開業をしており、外来診療と往診に専念している。
各GPは5人のDN（district nurse地域専門看護師、一般看護師より高度の免許必要）を抱え、DNがそのGPの患者宅を必要に応じて訪問看護し、GPの往診頻度を軽減している。

日本では開業医は各科の専門分野に分かれているが、英国の健康保険医療では開業医はGP（general practice総合診療科）の標榜しか許可されず、GP以外の専門医は病院の勤務医にしかなれない。
英国のGPは日本の総合内科のみならず一般小児科、入院を要しないうつ病、手術を要しない外傷・骨折の処置、帝王切開を要しない産科、鼓膜切開を必要としない耳鼻咽喉科等々を含む極めて広い総合診療医である。

英国では地域毎に各科の医師の定員が決められている（オックスフォードでは脳神経外科専門医は2名のみ）ので、日本のように医師が大都会に集中し、医療過疎地域など生じないように調整されている。
日本の国民健康保険制度は世界的に優れていると言われているが、「**望ましい**」医療制度である限り、英国の「**ねばならない**」医療制度に比較したら、中途半端な医療制度としか言えない。

定期ライブ 十三年・五十一回 歌い終えて お客様に支えられて感謝!!

投稿　阿部克行　千葉市

去る七月十七日（水）、私は十三年間続けてきた千葉市中央区市場町にある、レストラン・ライブハウス「邪夢」での定期ライブを歌い終えた。このライブは一年に四回、一月・四月・七月・十月の第三水曜日に決まって開催してきました。

始まりのきっかけですが、私が「邪夢」を紹介されたのは二〇〇三年です。初めのうちは毎月一回ピアニストのもとで五～六名が集まって歌い合っていました。お客様を呼ぶ義務もありませんでした。

三年ほど経った時、オーナーの野口氏から定期ライブのお話をいただいたのです。その頃私はNHK千葉カルチャーの岡本真理子シャンソン教室でシャンソンを勉強していましたので、その仲間にゲスト出演のおさそいをし、今の形（私が十四曲、ゲストが六曲、計二十曲）が決まったのです。

二〇〇七年一月から数えて五十一回目になります。実は五十一回で終わりにした理由は、八十才を過ぎた頃から体力や能力（脳力ともいえる）の衰えを覚え、潮時を考えていたのです。

今年の三月二十一日の東京ドームでのイチロー選手の試合や会見をテレビで見て、背番号五十一の数字が強く心に残っていたのです。

筆者がリリースした CD

それで、四月の五十回目の節目のライブで次の五十一回目のライブで終わりにする旨お客様に報告しました。

これまで長い間、数々のお客様に支えられたこと、そして毎回一人ずつゲストにお迎えした多くの女性シンガーにも助けられたこと、この間、三人のピアニストにも恵まれたこと、「邪夢」のオーナー野口雅一（ミュージシャン）氏にも応援頂いたこと、そのすべての方に感謝の気持ちで一杯です。

筆者最後のライブ

当日は日野原重明記念「いきいきライフ千葉」から熊谷事務局長はじめ七名もご来場いただきました。

よくも長い間歌い続けてこられたとの思いが致しますが、やはり「歌を愛し続けてきたこと」に他ならないと言えます。

世の中には感動する歌が沢山ありますね。この間、私は「新老人の会」にも入会し、サークルでは「楽しい歌声」、同好会では「カラオケの会」でお世話になっております。

また、コーラスでは「新老人の会」東京のコールバンダナの一員として頑張っています。

すばらしい指揮者、桑原妙子先生のもと、年二回横浜のみなとみらいホールで歌えるのが生き甲斐です。

私の好きな歌に「歌に生きる」と云う歌があります。定期ライブでも一番多く歌った曲です。朝吹タツヤ氏の作詞ですが、この中に「この命つきるまで、この声のつきるまで歌い続ける」とあります。

私もこの気持ちを忘れずに今後も歌い続け、楽しんで生きたいと願っています。数多くの歌の友達にめぐり逢えた幸せに感謝して。

私の戦争体験

終戦直後、外地での気丈な母の姿

投稿　手塚 紀子　　習志野市

哈爾浜（ハルピン）は昔”東洋のパリ”と云われた所とか・・・。永い冬が明けると楡（ニレ）が芽吹き、柳絮（リュウジョ：やなぎの綿毛）が舞い、鈴蘭・杏・ライラックが競い合って街を彩るのです。その中で、多くの国の人が極めて仲よく暮らしていました。

私の父が転勤でここへ来たのは昭和11年の春でした。当時は治安も落ちつかず、父母にとってどんなに不安だった事と思います。

昭和13年、私の入学を機に小学校の隣に転居しました。治安も落ち着いて、日本人が幅をきかせる時代が始まりました。

戦争中とは云え、物資もあまり不自由なく”あの日”がくるまで自由な日々が続きました。

戦争が終わって、今まで平和だった街は一夜にして暴民に囲まれ、奥地からの避難民、ソ連が入ってからは、男狩りで捕らえられた人の集団が何百人も通りすぎてゆく殺伐とした世界へと変わってゆきました。

そうした中で或る日「この家は将校の宿舎にするから2時間以内に出てゆけ」とソ連兵の命令・・・命からがら隣りの院内（中庭型の集合住宅にある家）に逃れました。

私たちが入った家は、元、在郷軍人会の事務所にも使われた、手洗いも浴室もない長屋の一角で、一夜乞食同然でした。

でもその日から徴発が始まったのです。私が夕方ゴミを捨てようと扉を開けたら、3人が銃を持って立っていたのです。そして、ドヤドヤと入ってきました。

母は「どうぞー」と平然としていると、早速「時計はー？」と始まりました。母が「私の家は隣の白い二階、時計も宝石もお金もたくさんあった（？）筈だ。それを全部取り上げて、また盗みに入るとは何事か？」と云うと、「これはマズイ！」という面持ちで引き揚げようとする兵隊の腕をつかんで「待て！」と呼び止めた。

そして、「盗みに入るのはスターリンの命令か？」ときくと「スターリンは立派な人でそんな事は命令しない」と。

いや困ったなという様子に、母は「じゃ貴方のママが教えたのね」と云うと「ママは、ママは正直な人で、絶対そんな事は云いません」と必死です。「ではママはどんな人？」って云うと、胸ポケットからヨレヨレになった写真を出して見せました。

「ママはなんて言ったの？」と云うと「戦死しないで必ず元気でかえってくる様にと言いました」

そして「貴女は日本のママ、僕は貴女を愛します」と。

「この家には誰もこない様に伝えます」と云うと、やっと無罪放免の態で帰ってゆきました。

其の後、この仲間は来なくなりましたが、「ママも子供達も元気で日本に帰って…」と云って、他の家で盗った卵などを持って来るのです。

母は困って、各の家へ返しにゆきました。

「孫のためにやっと買った卵」と云われたり、妙な感いでした」

この様な出来事があった後、想ったことは、

- 人間何もなくなれば強くなる事
- 子を思う心は同じ
- 言葉は分からなくても身振り・手振りで心が伝わること

などでした。

サークル・同好会の活動

2019.9 ～ 2019.11

	火曜日		水曜日
	午前	午後	午後
第1週		カラオケ	
第2週	歌　声	吹　矢	
第3週		カラオケ	
第4週	歌　声	吹　矢	学ぶ会

活動施設の電話番号
- 千葉市文化ｾﾝﾀｰ　043-224-8211
- 千葉市民活動支援ｾﾝﾀｰ　043-227-3081
- 千葉市民会館　043-224-2431
- 四街道市文化ｾﾝﾀｰﾎｰﾙ　043-423-1618

活動名	開催日時	場所	世話人・(幹事)連絡先 TEL＆FAX	参加費
楽しい歌声サークル	第2・4火曜日 10:00～11:45	千葉市文化センター6F 第2リハーサル室	福澤典子(世話人) 047-377-1057 阿部克行(世話人) 043-279-4707	1回 500円
スポーツ吹矢サークル	第2・4火曜日 13:30～15:30	千葉市文化センター6F 第2リハーサル室	有村　長(世話人) 043-246-2981 高橋澄江(幹事) 043-263-5198 窪田重子(幹事) 043-256-5784	月額 2,000円 (2回分)
カラオケ同好会	第1・3火曜日 13:00～15:00	「カラオケ館」 千葉駅前店 千葉市中央区富士見 2－4－6 TEL 043-223-6717	阿部克行(世話人) 043-279-4707 二宮菊江(幹事) 047-451-0983	2時間 280円 ＋ワンドリンク380円～ 消費税別途
観劇同好会	年間6回観劇(隔月)。月会費2回分毎に本格的演劇を隔月に千葉で観ることができる。	千葉市民会館大ホール 連続4日間各1回公演 四街道市文化センターホール　1日1回公演	熊谷勝弘(世話人) 043-292-5209 ※ 観劇日は下記5日間から各自で自由に選べる。	月額会費 2,000円 入会金 1,000円
歩こう会	不定期	千葉市内、他	有村　長(世話人) 043-246-2981	無料
学ぶ会	毎月第4水曜日 13:00～15:00 日野原先生に学び、健康で長生き、充実人生をめざして語り合う。	千葉市文化センター9F 千葉市民活動支援センター談話室	西村保則(幹事) 0436-41-9419	無料

10月例会　劇団昴
『アルジャーノンに花束を』 原作 ﾀﾞﾆｴﾙ・ｷｲｽ
並みの知能は持たないけれど、お人好しで心優しいチャーリーは、人類初の手術によって天才に生まれ変わる。夢にまで見た人生、その先で直面する現実。その果てにチャーリーを待っていたものは・・・。
脚色・演出 菊池 准　9月28日(土)12:30 四街道文セ
出演 町屋圭祐
槙乃萌美　10月1日(火)18:30
宮本　充　2日(水)14:00
金子由之 他　3日(木)13:30
4日(金)12:30
千葉市民会館
時刻は開演時刻

12月例会　劇団NLT
『法廷外裁判』 原作 ヘンリィ・セシル
大富豪が殺された。容疑をかけられたロンズディルは無罪を勝ち取ることが出来るのか。あぶり出される人間の本性と関係者達の過去。どんでん返しの連続。法廷ユーモアミステリーと言える、日本初の舞台化。
脚本・演出 池田政之　12月2日(月)19:00
出演 川端槇二　3日(火)14:00
木村有里　4日(水)13:30
永田博丈　5日(木)12:30
加納健次 他
千葉市民会館
時刻は開演時刻　12月8日(日)12:30 四街道文セ

第2回歩こう会　9月19日(木)9:30 ～ 12:00　集合 京成稲毛駅 海側改札 9:15
稲毛エリアを歩きます。 千葉市観光協会ガイド付き　問合せは担当世話人へ

申し込み方法　新たに参加を希望される方は、各サークル・同好会の世話人または幹事にお問い合わせ下さい。　参加に先立つ見学・お試し(1回)は、観劇同好会を除いて可。カラオケ同好会以外は無料です。　見学・お試しの際には事前に担当世話人または幹事に日時等お問い合わせ下さい。

お知らせ

新入会員のご紹介

右記の方々が新たに入会されました。心より歓迎致します。
これから共に生き生きと元気に楽しく活動していきましょう。

前田久爾子さん　千葉市

町田　洋子さん　千葉市

植村研一先生の健康講演　と　名曲鑑賞

健康講演と音楽（ヴィオラとピアノの二重奏）の集い

期　日　　１０月２４日(木)　13:30 開場　13:50 開演　～　16:00
会　場　　千葉市文化センター 6F　スタジオ 1
参加費　　会員　500円　　会員外　1,000円

演題　ちょっと頭を打っても危ない高齢者

プログラム
一部　ヴィオラとピアノの演奏
ヴィオリスト　植村　理一
ピアニスト　鈴木美奈子

二部　健康講演
講師　植村　研一

演奏曲
① エルガー作曲　愛の挨拶　二重奏
② バッハ作曲
無伴奏組曲第1番より　ヴィオラ ソロ
③ スキリャービン作曲
左手の為のノクターン　ピアノ ソロ
④ ブルッフ作曲　ロマンス　二重奏
⑤ ヴュータン作曲　エレジー　二重奏
※ 会場の皆さんと歌う曲も準備

講師　植村研一
浜松医科大学名誉教授
脳神経外科医・脳卒中専門医
本会会長

ヴィオラ　植村理一
ﾆｭｰﾖｰｸ生まれ。ｼﾝｼﾅﾃｨ州立大首席卒業。ﾍﾞﾙﾘﾝﾌｨﾙ・ｳｨｰﾝﾌｨﾙ等の首席奏者と共演。ﾖｰﾛｯﾊﾟで活躍。現東京芸術大講師。

ピアノ　鈴木美奈子
桐朋音大卒業。ﾊﾝｶﾞﾘｰリストﾐｭｰｼﾞｯｸ音楽院に留学。ﾖｰﾛｯﾊﾟで活躍。帰国後日本室内楽コン第２位。ｿﾘｽﾄ、審査員等で活躍。

申込み　事務局　熊谷勝弘　電話 043-292-5209　携帯 090-8590-9226

第２回　歴史探訪バスの旅ご案内　銚子方面

1　日時　11 月 21 日（木）　8:15 ～ 18:00
2　集合　8:15　JR千葉駅東口NTTビル前
3　出発　8:30
4　参加費 3,500円(昼食は各自負担)　当日集金　（申込時支払い歓迎）
5　募集人数　26人
※ 実施日前1週間以降(11月15日から)のキャンセルの場合はキャンセル料50%が発生します。
6　バス内お楽しみ企画有り
※ 犬吠埼灯台見学は希望者のみ(見学料200円)

JR千葉駅東口 NTTビル前 → 千葉東IN → 野呂PA → 横芝光IN → ヤマサ醤油 →
8:15 集合　8:30 出発　　見 学

銚子ウオッセ → 犬吠埼灯台 → 芝山古墳・はにわ博物館 → 松尾横芝IN → 千葉駅東口NTTビル前
昼食・買物　散 策　見 学　18:00 帰着

申込み　担当世話人　上田彦一　電話 0436-41-0077　携帯 090-8493-2358